

理事長・学校長 殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 福田 益和

公印省略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
平成29年度 中堅教員研修会
「リスクマネジメント（クレーム対応）」
「新任指導力（組織コーチング、メンタリング）」
「教育・指導力向上（ファシリテーションの効果を実感する体験学習）」
「学校の経営（SWOT分析を中心として）」
「教員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教員育成研修）」
開催のご案内

入梅の候、校務ますますご繁忙のことと拝察申し上げます。

さて、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団では、専修学校制度発足以来、独自のカリキュラムに基づき「新任教員研修」を実施し、専修学校における新任教員の資質向上に努めております。

平成24年度より、文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、「中堅教員研修カリキュラム」の研究・開発を進めております。これは、新任教員研修カリキュラム修了程度の能力を有する方等を対象に、専修学校教育において、後進の指導等を含め、専修学校教育の振興に尽力することが期待される中核的・専門的な役割を担う中堅教員の育成を目的としたものです（カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、8・9頁をご参照ください）。

この度、①「リスクマネジメント（クレーム対応）」、②「新任指導力（組織コーチング、メンタリング）」、③「教育・指導力向上（ファシリテーションの効果を実感する体験学習）」、④「学校の経営（SWOT分析を中心として）」、⑤「教員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教員育成研修）」につきまして研修会を東京・主婦会館プラザエフにて開催いたします。

詳細は実施要項をご参照いただき、是非、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。参加を希望される方は、同封の受講申込書に必要事項をご記入の上、7月14日（金）までに下記へファクシミリにてお申し込みください。（定員になり次第、締め切りとさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせ致します。）

[お問い合わせ・お申し込み先]
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>
(Association for Technical and Career Education)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館
TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

平成 29 年度 中堅教員研修会 実施要項

- 【主 催】 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）
- 【科 目 名】 ①「リスクマネジメント（クレーム対応）」
②「新任指導力（組織コーチング、メンタリング）」
③「教育・指導力向上（ファシリテーションの効果を実感する体験学習）」
④「学校の経営（SWOT分析を中心として）」
⑤「教員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教員育成研修）」
- 【対 象】 専修学校の中堅教職員（目安：勤続5年程度以上）
- 【申込期日】 平成29年7月14日（金）（定員になり次第、締め切りとさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせ致します。）

①「リスクマネジメント(クレーム対応)」

【内容・目的】

中堅教員として、リスクマネジメントに関わることは、学校経営の根本的な問題のみならず、日々の運営の中で諸問題に適切に対応し、解決を図る上で強く要請されている。また、クレーム対応には、原理・原則があり、それを踏まえて行動すれば難しいものではない（その中でも最も重要なのは「顧客（学生・ステークホルダー）の心情を理解してふるまう」ことである）。

本科目の受講者は、クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知る事で、専修学校におけるクレームの諸問題に対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けられることを目標とする。

また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS（顧客満足度）改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とする。

【定 員】 30名

【日 時】

科目・時間数・会場	日時
リスクマネジメント（計6時間）	平成29年7月24日（月）10:30～17:00

【受 講 料】

受講科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
リスクマネジメント	1名 9,000円	1名 18,000円

②「新任指導力(組織コーチング、メンタリング)」

【内容・目的】

新任指導能力「新任教職員の指導・育成力」を高めることを目標とする。中堅教員（管理職）にとっての役割とは何かを知り、新任（部下）の指導育成のための目標管理や新任（部下）の能力を引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指す。

具体的には、

- ・新任指導育成のための目標管理力／新任の能力を引き出すための組織コーチング力、メンタリング力をつけることを目指す。

事前課題として、現在もしくは過去において「新任（部下）教職員の指導・育成」などで苦労した事

例を記入するシートがあります。

【定 員】 各36名

【日 時】

科目・時間数・会場	日時
新任指導力 (計12時間)	平成29年8月1日(火) 13:00~18:00
	2日(水) 9:00~17:00
	※2日目 12:00~13:00 は昼休み

【受講料】

科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
新任指導力	1名 13,500円	1名 27,000円

③ 「教育・指導力向上(ファシリテーションの効果を実感する体験学習)」

【内容・目的】

体験から学ぶ方法としての「ラボラトリー方式の体験学習」について理解を深め、教育活動におけるプロセスを大切にしたい学生との関わり方や観察力の必要性を感じる上で、教員自らがファシリテーションを体験する。そして、その体験で得た効果を実感することを通じて、自らがファシリテーターとなるためにどのようなマインドで基礎的な知識とスキルを必要とするか、まずは確認することで、今後の教育・指導力向上に向けた学習のきっかけとしていただきたい。

【定 員】 30名

【日 時】

科目・時間数・会場	日時
教育・指導力向上 (計12時間)	平成29年8月24日(木) 13:00~18:00
	25日(金) 9:00~17:00
	※2日目 12:00~13:00 は昼休み

【受講料】

科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
教育・指導力向上	1名 13,500円	1名 27,000円

④ 「学校の経営(SWOT分析を中心として)」

【内容・目的】

学校経営の概観を把握することで、中堅教員として学校経営に対する意識を持ち、所属する学校経営と自らに課される仕事の理解を深めることをねらいとする。

学校経営における法律や財務をはじめとする様々な知識や手法等の必要性に受講者自らが気づくきっかけとする。受講者同士で課題に取り組みながら、学校経営に関わっていくための知識と能力について演習を通じて理解し、各自のマネジメントスキルの課題を認識することで、自校の中長期の計画策定、将来構想について俯瞰した視点を持つことを目標としたい。

【定 員】 30名

【日 時】

科目・時間数・会場	日時
学校の経営 (計 12 時間)	平成 29 年 8 月 30 日 (水) 13:00~18:00
	31 日 (木) 9:00~17:00
	※2 日目 12:00~13:00 は昼休み

【受 講 料】

科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
学校の経営	1名 13,500円	1名 27,000円

⑤「教員のキャリアデザインワークショップ(これからの専修学校を担う自立型教員育成研修)」

【内容・目的】

専修学校教員として、教科指導やクラス運営等を経験する中で、更に教育指導力を高め、学科として行う職業教育全般の企画運営や学校運営全体のマネジメントを行う方向に進むか、或いは教育専門職としての進路を目指すか等の教員自らのキャリアパスについて、自立的な将来設計を行い、計画に基づくアクションプランニングを行う。

【定 員】 各36名

【日 時】

科目・時間数・会場	日時
教員の キャリアデザインワークショップ (計 24 時間)	平成 29 年 9 月 27 日 (水) 11:00~21:00
	28 日 (木) 9:00~18:00
	29 日 (金) 9:00~17:00
	※初日 19:00~21:00 は情報交換会
	※2・3 日目 12:00~13:00 は昼休み

【受 講 料】

科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
教員のキャリアデザイン ワークショップ	1名 35,000円 (情報交換会費用5,000円を含む)	1名 65,000円 (情報交換会費用5,000円を含む)

全科目共通

【会 場】 東京・主婦会館プラザエフ

東京都千代田区六番町15 電話03-3265-8111

[\(http://plaza-f.or.jp/\)](http://plaza-f.or.jp/)

【申込方法】 別紙の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

⇒FAX:03(3230)2688

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE財団) 事務局 総務課宛

【受 講 料】

※ 交通費・宿泊費は含みませんので、各自でご手配ください。

※ お申込みと同時に下記口座にお振込みください。研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。

※ 受講料の返金は致しかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。

みずほ銀行 九段支店 (普通) 2386904
 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
 (振込手数料は貴校にてご負担ください)

【修了基準】

『リスクマネジメント』（6時間）、『新任指導力』（12時間）、『教育・指導力向上』（12時間）、『学校の経営』（12時間）、『教員のキャリアデザインワークショップ』（24時間）それぞれについて、各科目所定の研修時間を全て受講された方につきましては、本財団より「修了証」を発行いたします。

※詳細につきましては、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団ホームページをご確認ください。

【タイムテーブル】

①「リスクマネジメント（クレーム対応）」

- ◆日時：平成29年7月24日（月）10:30～17:00
- ◆講師：一般社団法人日本経営危機管理協会
認定講師 野関 由味子 氏

予定時間	予定内容
10:15 10:30	受付 初日開講 “講義＋演習＋グループワーク＋振り返り”の流れで進行します。
	○「求められる『教職員（学校）像』とは」
	○「リスクマネジメントの基本」
	○「CS（学生・ステークホルダーの満足度）を考える」
	○「サービスのスタートラインとは」
	○「過去の代表的な事例からみるクレームとは」
	○「クレーム対応の基本手順」
	○「クレーム対応で留意すべき点」
	○「組織としていかにクレームに対応するか」
17:00	○まとめ 閉会

②「新任指導力（組織コーチング、メンタリング）」

- ◆日時：平成29年8月1日（火）13:00～18:00
2日（水）9:00～17:00
(2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
- ◆講師：キャリアカウンセラー
梅野 文子 氏
キャリアサポートOffice AOKI
代表 青木 慶子 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 “講義+演習+グループワーク+振り返り”の流れで進行します。 ○「新任指導力・メンタリングとは？」 ○「メンタリング技術」 (質問の技術、傾聴の技術、観察の技術、伝達の技術)
18:00 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○「総合実践演習」 ○「ディスカッション・質疑応答」 ○まとめ
17:00	閉会

③「教育・指導力向上（ファシリテーションの効果を実感する体験学習）」

◆日時	平成29年8月24日(木) 13:00~18:00 25日(金) 9:00~17:00 (2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
◆講師	キャリアサポートOffice AOKI 代表 青木 慶子 氏 長野県公衆衛生専門学校 准教授 上浦 環 氏 キャリアカウンセラー 梅野 文子 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 “講義+演習+グループワーク+振り返り”の流れで進行します。 ○体験学習とファシリテーションとは ○実習①②・「講義」 (①「私の窓」、②「おもしろレジャーランド」)
18:00 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○実習③・講義 (③「プロジェクト・チーム」) ○今後、現場で生かすために
17:00	閉会

④「学校の経営（SWOT分析を中心として）」

◆日時	平成29年8月30日(水) 13:00~18:00 31日(木) 9:00~17:00 (2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
◆講師	TCE財団中堅教員研修研究委員会 委員 安田 実 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 “講義+演習+グループワーク+振り返り”の流れで進行します。 ○学校経営とは ○学校経営にあたっての基礎知識 ○SWOT分析について ○SWOT分析のケーススタディ
18:00 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○「学科創設」 ○まとめ
17:00	閉会

⑤「教員のキャリアデザインワークショップ」

◆日時	平成29年9月27日(水) 11:00~21:00 28日(木) 9:00~18:00 29日(金) 9:00~17:00 (初日19:00より情報交換会を開催いたします。研修時間を含みます。) (2・3日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
◆講師	長野県公衆衛生専門学校 准教授 上浦 環 氏 キャリアサポートOffice AOKI 代表 青木 慶子 氏

予定時間	予定内容
(初日) 10:45 11:00	受付 初日開講 “講義+演習+グループワーク+振り返り”の流れで進行します。 ○「キャリアとは？」 ○「キャリアデザインについて」 ○「中堅教員の立場と役割」
19:00 21:00 (2日目) 9:00	情報交換会 初日終了 2日目再開 ○「自己のキャリアの棚卸し」 ○「自己理解について」 ○「自分のできることとやる気の根っこ」 ○「キャリアビジョンシートについて」
18:00 (3日目) 9:00	2日目終了 3日目再開 ○「当事者意識と被害者意識について」 ○「環境分析について」 ○「これからの自分を考える」 ○今後のキャリアビジョンと具体的な行動プランの考察・発表
17:00	閉会

※事情により変更となる場合があります。変更時には当財団ホームページでその旨をお知らせします。

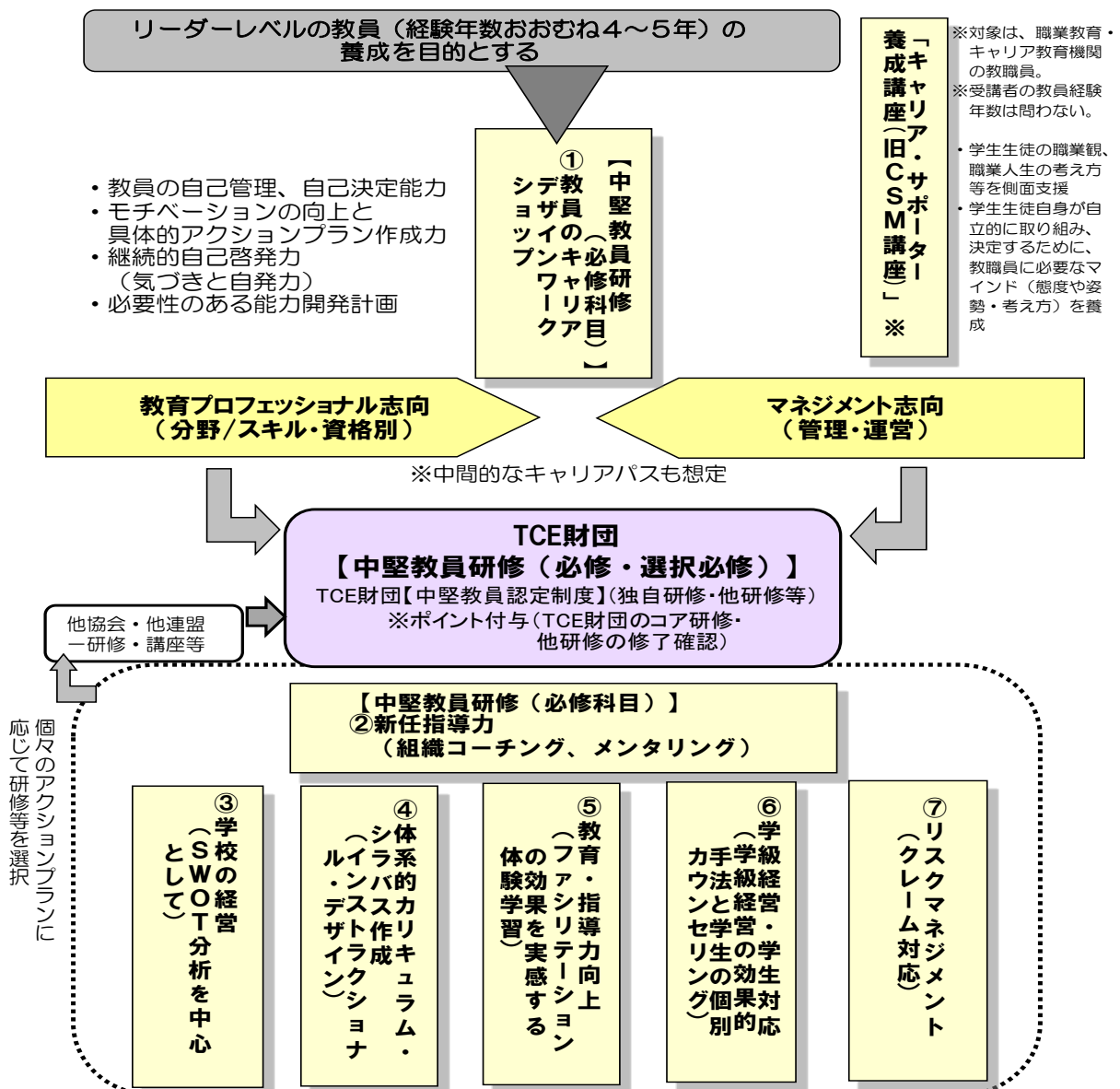
※全日の研修内容の受講をお願いいたします。

※「新任指導力」「学校の絵経営」「教育・指導力向上」について、初日終了後に懇親会を開催いたします。懇親会もご意見交換の貴重な場です。ぜひご参加ください。懇親会費用は3,000円とさせていただきます。参加をご希望の方は受講料と共にお振込ください。情報交換会・懇親会は別会場で行います。「キャリアデザインワークショップ」情報交換会（必須）の費用は受講料に含まれます。

TCE財団 中堅教員研修 カリキュラムの内容

1. 考え方と構成

- (1) 中堅教員研修は、「①教員のキャリアデザインワークショップ（必修科目）」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑦（必修＝②・選択必修＝③～⑦）を用意。
- (2) ①～⑦の7科目以外に、他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講（継続的能力開発）を奨励し、修了した研修をもって中堅教員のポイントの付与を行うことを想定。



2. 科目一覧

	科目名	時間	・＜キャリアパス＞ ・研修の概要と目標
①	教員のキャリアデザインワークショップ	24	<p>＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞</p> <p>専修学校教員として、教科指導やクラス運営等を経験する中で、更に教育指導力を高め、学科として行う職業教育全般の企画運営や学校運営全体のマネジメントを行う方向に進むか、或いは教育専門職としての進路を目指すか等の教員自らのキャリアパスについて、自立的な将来設計を行い、計画に基づくアクションプランニングを行う。また、本科目修了後に受講する他の中堅教員研修科目をどう選択していくかを行動目標に盛り込むようにする。</p>
②	新任指導力（組織コーチング、メンタリング）	12	<p>＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞</p> <p>新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ことを目標とする。中堅教員（管理職）にとっての役割とは何かを知り、新任（部下）の指導育成のための目標管理や新任（部下）の能力・メンバーシップを引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指す。</p> <p>具体的には、新任指導育成のための目標管理力／新任の能力を引き出すための組織コーチング力、メンタリング力をつけることを目指す。</p>
③	学校の経営（SWOT分析を中心として）	12	<p>＜キャリアパス：マネジメント志向＞</p> <p>この研修は、学校経営の概観を把握することで、中堅教員として学校経営に対する意識を持ち、所属する学校経営と自らに課される仕事の理解を深めることをねらいとする。</p> <p>我が国の経済の影響を受けて、実学志向・資格志向・専門職業人育成への社会的要請は高いが、学校種間・学校間競争は依然厳しく、また18歳人口が減少に入る2018年度が迫る中で、中堅教員が学校経営を理解し能力を高めることは非常に重要である。</p> <p>研修では、学校経営における法律や財務をはじめとする様々な知識や手法等の必要性に受講者自らが気づくきっかけとする。受講者同士で課題に取り組みながら、学校経営に関わっていくための知識と能力について演習を通じて理解し、各自のマネジメントスキルの課題を認識することで、自校の中長期の計画策定、将来構想について俯瞰した視点を持つことを目標とする。</p>
④	体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）	12	<p>＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞</p> <p>より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン（ID）がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標である。</p>
⑤	教育・指導力向上（ファシリテーションの効果を実感する体験学習）	12	<p>＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞</p> <p>ファシリテーションは、「容易にする」「円滑にする」「スムーズに運ばせる」という原意が示すとおり、問題解決や合意形成を促進する技術としてアメリカから紹介された。主に体験学習やワークショップなどのグループ活動に適用する手法であり、話し合いを促進する、メンバーの相乗効果を発揮する、自律性を育むなどの効果が期待できる。その応用範囲は多岐にわたるが、教育現場の適用事例も数多く報告されている。</p> <p>体験から学ぶ方法としての「ラボラトリー方式の体験学習」について理解を深め、教育活動におけるプロセスを大切にしたい学生との関わり方や観察力の必要性を感じる上で、教員自らが、ファシリテーションを体験する。そして、その体験で得た効果の実感することを通じて、自らがファシリテーターとなるためにどのようなマインドで基礎的な知識とスキルを必要とするか、まずは確認することで、今後の教育・指導力向上に向けた学習のきっかけとしていただきたい。</p>
⑥	学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）	12	<p>＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞</p> <p>これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。</p> <p>そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。</p> <p>具体的には、小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されている。Q-Uは、教員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものである。</p> <p>近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もある。本研修科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教員間の連携を強化し、より効果的なクラス・学科運営が行えるようになることをねらいとする。</p>
⑦	リスクマネジメント（クレーム対応）	6	<p>＜キャリアパス：マネジメント志向＞</p> <p>中堅教員として、リスクマネジメントに関わることは、学校経営の根本的な問題のみならず、日々の運営の中で諸問題に適切に対応し、解決を図る上で強く要請されている。また、クレーム対応には、原理・原則があり、それを踏まえて行動すれば難しいものではない（その中でも最も重要なのは「顧客（学生・ステークホルダー）の心情を理解してふるまう」ことである）。</p> <p>本科目の受講者は、クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知る事で、専修学校におけるクレームの諸問題に対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けられることを目標とする。</p> <p>また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS（顧客満足度）改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とする。</p>
	計	90	

全7科目受講された方への研修成果のインタビュー

中堅教員研修会全7科目を修了された4名に対し研修成果のインタビューを行った。
(4名のプロフィール概要は以下のとおり。)

修了者	学校分野	性別	年齢	学校勤続年数
A	商業実務	男	48	3年
B	医療	男	43	7年
C	医療	女	38	10年
D	医療	男	38	7年

～気付きと行動変化はありましたか？～

- 学校全体のことや若手職員の育成という点について、受講前よりも意識して行動するようになりました。特に「考えるだけでなく行動する」ということをモットーにし、若手職員のお手本となることはもちろんですが、ベテラン職員の方々からも信頼されるように行動しています。
- 教員としての職務（教育）だけでなく、教員としてどのようなキャリアを歩んでいくかを考える契機となりました。また自身が与えられた職務をどのような考えで進めて行くかを多角的に考えられるようになりました。
- まず、授業内のグループワークや、個人で参加する研修においては「ファシリテーション」を意識します。また、受講させていただきました「インストラクショナルデザイン」は、次年度のシラバス提出時に生かして見直しを考えております。また、私は防火管理者であることもあり、「リスクマネジメント」について意識することも、同僚に伝える機会も多いように感じます。その他の教科につきましてもテキストを見直したり、用語の確認を行ったりする機会があります。意識面では「キャリアデザインワークショップ」で感じた自身の決意を思い起こすこともあり、貴重な機会であったと認識しております。しかし、日常の雑事に取り紛れて希薄になる瞬間や、浅い知識にとどまり定着していないもどかしさを感じることもありますので継続学習の機会をいただけますとありがたいです。
- 教職員の面談の際に今まで以上に「質問・傾聴・観察・伝達」を意識して行うよう努めてきました。また、質問や伝達といったこちらから発する内容も本研修で学んだものから相談内容に適したものを抽出するように努めました。相手の立場を考慮した上で発言し、相手に答えを導き出させるような対応を自然にできてきたと思っています。個人的には、仕事全体の視野が広がり、専門学校の教職員としての在り方がおぼろげながらも見えてきたような感覚でいます。

～今後、中堅教員研修会を受講される方へのメッセージ～

- 理解しやすいプログラムもあれば、なかなかすぐには理解できないものもあると思いますが、必ず役に立つ時が来ると信じて受講してほしいと思います。また、様々な専門学校の先生方と交流することで、悩みを共有したり解決の糸口を見い出すことができたり、それだけでも研修に参加して良かったと思うことができます。壁にぶつかって悩んでいる方やスキルアップを目指す方にはとても素晴らしいプログラムになっていると思います。ぜひ全てのプログラムのコンプリート目指して頑張ってください。
- 中堅教員研修は間違いなく大きな収穫を得られる講座となります。一つ一つを大切に受講されることで確実に成長していけると思います。
- 全ての研修を受講して思うことは、どの専門学校でも抱える問題点・課題点を冷静に振り返り分析できる機会をいただけたのだなということです。研修は元より他校の先生方と利害関係なく率直に意見や情報の交換ができたことも大変有意義でした。

別表一覧 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）の支部

	都道府県名	名 称	電話番号
1	北海道	公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会	011.242.1955
2	青森	青森県専修学校各種学校連合会	017.728.0145
3	岩手	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	019.624.8600
4	宮城	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会	022.211.7157
5	秋田	秋田県専修学校各種学校協会	018.832.5437
6	山形	一般社団法人山形県専修学校各種学校協会	023.641.2323
7	福島	一般社団法人福島県専修学校各種学校連合会	024.934.8833
8	茨城	一般社団法人茨城県専修学校各種学校連合会	029.221.8771
9	栃木	一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会	0282.29.3056
10	群馬	一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会	027.255.6861
11	埼玉	一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会	048.865.2195
12	千葉	一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会	043.243.3147
13	東京	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	03.3378.9601
14	神奈川	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会	045.312.2221
15	新潟	一般社団法人新潟県専修学校各種学校協会	025.222.8798
16	富山	一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会	076.442.1858
17	石川	一般社団法人石川県専修学校各種学校連合会	076.264.3991
18	福井	一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	0776.27.2024
19	山梨	一般社団法人山梨県専修学校各種学校協会	055.235.8861
20	長野	一般社団法人長野県専修学校各種学校連合会	026.235.3353
21	岐阜	岐阜県専修学校各種学校連合会	058.271.5076
22	静岡	公益社団法人静岡県職業教育振興会	054.251.2335
23	愛知	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会	052.957.1392
24	三重	三重県専修学校協会	059.229.4070
25	滋賀	滋賀県専修学校各種学校連合会	077.525.4572
26	京都	一般社団法人京都府専修学校各種学校協会	075.344.2330
27	大阪	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	06.6352.0048
28	兵庫	公益社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会	078.391.7010
29	奈良	奈良県専修学校各種学校連合会	0742.93.5670
30	和歌山	一般社団法人和歌山県専修学校各種学校協会	073.423.9770
31	鳥取	一般社団法人鳥取県私立学校協会専修学校各種学校部会	0857.29.4266
32	島根	一般社団法人島根県専修・各種学校連盟	0852.23.5548
33	岡山	一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会	086.226.7198
34	広島	公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟	082.227.8210
35	山口	一般社団法人山口県専修学校各種学校協会	083.924.0239
36	徳島	一般社団法人徳島県専修学校各種学校連合会	088.652.5899
37	香川	一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会	087.822.3001
38	愛媛	一般社団法人愛媛県専修学校各種学校連合会	089.935.4510
39	高知	一般社団法人高知県専修学校各種学校連合会	088.850.0200
40	福岡	一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会	092.292.6104
41	佐賀	佐賀県専修学校各種学校連合会	0952.26.8311
42	長崎	一般社団法人長崎県専修学校各種学校連合会	095.844.1378
43	熊本	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会	096.372.6444
44	大分	一般社団法人大分県専修学校各種学校連合会	097.544.4666
45	宮崎	一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会	0985.29.5288
46	鹿児島	一般社団法人鹿児島県専修学校協会	099.213.9110
47	沖縄	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会	098.858.7070

